

北相模縦守護社
亀ヶ池八幡宮

社報

龜ヶ池



第11号

平成23年7月1日発行



がんばれ東日本!
がんばろう日本!
一歩ずつ前へ!

一心泣き相撲・亀ヶ池場所



遷宮で結ぶ人の輪心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

多くの日本人は生活や経済活動の変化を余儀なくされた。この戦後最大の国難に、国民総意で対峙していかねければならない。しかしながら、大震災に被災したこの地域が、そしてこの日本が根本的に立ち直ることは、たやすいことではない。まさに、今こそ日本人として在るべき姿を取り戻し、日本人が本来もっている勤勉さや、ふるさとを愛し国を支えんとする心を再び結びなおす必要があるだろう。

この国難のなかでこそ、日本人一人ひとりが一歩ずつ前へ踏み出して未来に向かって進んでいくことを只管願っている。

三月十一日午後二時四十六分、千年に一度といわれる大地震、東北地方太平洋沖地震が発生した。そしてその大地震による大津波は瞬く間に岩手、宮城、福島を中心とする広域を襲い、更には福島第一原発の深刻な事故は現地の人々の生活の基盤を奪い去った……。

いちよう



東日本大震災 復興祈願祭斎行

去る五月六日、宮総代・世話人四十有余名参列のもと、東日本大震災復興祈願祭を斎行いたしました。

当日は宮司以下祭員、参列者全員でお亡くなりになった方々のご冥福を祈り黙祷を捧げ、一刻も早い復旧・復興を祈願申し上げます。



被災された方々におかれましては、一日も早く元気なお姿で日々をお過ごし

できますよう心よりお祈り申し上げます。

相模原市へ 東日本大震災義捐金を寄託

当八幡宮では、この度の大地震にて被災された方々に少しでもお役立て頂くため、震災発生直後より義捐金募金活動を実施しており、社頭の義捐金箱による参拝者の心温まるご支援、また「一心泣き相撲・亀ヶ池場所」の収益金並びに当八幡宮神職・総代世話人一同のお気持ちを添えて、六月十五日、根岸宮司は相模原市役所を訪れ、山口副市長に義捐金(五十万円)をお渡しいたしました。ご協力頂きました皆様に謹んで御礼とご報告を申し上げます。



神社本庁設立六十五周年 記念式典開催される

神社本庁は大東亜戦争終結後、厳しい状況下全国神社関係者の総意により設立されてより、本年六十五周年を迎えました。新緑目映い五月二十五日、東京渋谷のNHKに隣接する渋谷C.C.レモンホールに於いて常陸宮同妃両殿下の御台臨を仰ぎ、神社本庁池田厚子総裁ご臨席のもと設立六十五周年記念式典が挙行されました。

式典においては様々な功績表彰が発表され、当八幡宮根岸千恵子権禰宜は表彰の榮に浴されました。神社本庁教誨師として十有余年に亘り神奈川県医療少年院にて、在院少年たちの神道訓育情操指導に尽力されているその功績と、氏子崇敬者への神道教化の成果により表彰を受けられました。向後一層の精進が期待されます。



昨年十二月中旬より晴天が続き、殊の外朝日輝く平成二十三年の元旦を迎えました。穏やかな日和のもと、当八幡宮の初詣の人々は未だかつてない程の賑わいを見せま



隆昌等、八幡様に御加護を頂こうとする参拝者や交通安全・身体健全等を願って御守や破魔矢等を受けられる善男善女で境内は埋め尽くされました。



した。
バブルがはじけ、またリーマンショックが日本を襲い不景気の風が吹く中、神頼みか、商売繁昌・社運



去る二月三日、春を感じさせる麗らかな日差しの中、節分祭豆撒き神事が斎行されました。当日は天候に恵まれ大勢の福男・福女が参加し、ご社殿では追儺の儀を行い、叩き棒・追儺板と太鼓を打ち鳴らし、鬼や邪気を大きな音をたてて追い払いました。その後神楽殿に進み、福男・福女による「福は

節分祭斎行



内!鬼は外!」の掛け声とともに豆撒き神事を行い、境内には福豆の福を授かるうと参拝者が集い、大賑わいとなりました。

お仕舞いに今年の恵方である南南東に向かい三本締めをして、盛会裡にお開きとなりました。

尚、数多くの福物をご協賛賜りました氏子崇敬者の皆様には厚く御礼申し上げますと共に、氏子崇敬者皆様の益々の弥栄をお祈り申し上げます。



「心泣き相撲 第一回」亀ヶ池場所「開催

本年、五月二十九日、政令指定都市・相模原市二周年を祝って計画した「心泣き相撲・亀ヶ池場所」が開催されました。

当日は、心配された台風二号の影響もなく早朝より参加者が来殿され、受付を済まされ参集殿にて可愛らしい赤ちゃんが化

粧まわしを身につけ、親御さんの考えた四股名の書かれた兜を頭にかぶり、ご神前にてお祓いを受けた後、いよいよ土俵入りです。行司が一人ひとり赤ちゃんの四股名を声高らかに呼ぶと、化粧まわし、兜を身につけた豆力士(赤ちゃん)は、大人の力士に抱えられ土俵の上へ進みます。

「はっけよい」の行司の合図で泣き相撲が開始され、いよいよ元氣良く泣くと親御さんは大変な喜びようで我が子の姿を写真におさめようと右往左往。その後、力足・升餅担ぎ・手型・福引等の楽しいイベントをして大変な賑わいでした。

参加された多くの方々から、「親子の絆が一層深まり思い出になる行事であり来年も是非計画してほしい。」との声が寄せられました。

尚、この度の「心泣き相撲 亀ヶ池場所」開催の記念として「神武天皇東征の図」の掛け軸を総代小林亮氏がご奉納下さいました。謹んでお受けし、当八幡宮の宝物とさせていただきます。



兼務神社めぐり

十一、御嶽神社

(相模原市緑区下九沢三三六鎮座)

御嶽神社は創建を応永元年(三九四年)と云い、平成五年創祀六〇〇年記念式典が、根岸信行宮司と多数の氏子崇敬者により挙行された歴史ある神社です。当時の館盛静光市長の揮毫による記念碑が建立されております。



その歴史を裏付けるが如く御神木である大杉は天然記念物として遥かに大島・田名・上溝地区よりも望まれ、後に市の保存樹木に指定された大杉などと鎮守の森として威風堂々の風格のもと、氏子住民の敬神の念を層篤くする環境を整え、御祭神を武運の神日本武尊とし、出征兵士の武運長久を祈願しての歓喜の声が轟いたのも歴史の中のページであります。

厳しい太平洋戦争に対応する為に除夜の鐘など地域に親しまれた梵鐘も供出され、終戦そして戦後の厳しい時代に突入したものの、御嶽神社への参詣は変わる事なく日々新たに復興の道を進み、昭和三十五年には下九沢地域内に日本電気が進出、相模原工場地鎮祭には、神奈川県重要無形文化財である御嶽神社獅子舞が奉納されました。

昭和四十五年、下九沢団地建設用地として神社所有山林六反余を住宅供給公社に売却、埼玉県寄居町他に二万平方メートルを取得する二方、周辺地域の住宅団地建設等の人口増加により初詣や、例大祭の参詣者が二層増大しました。初詣時には塚場昭和会の甘酒接待があります。八月二十六日の例大祭は夏の青空を仰ぎ勇壮に舞う獅子舞、そして輪になって拍手を贈る大勢の氏子参拝者が見られます。地域に根ざし、地域を護る、地域とともに在る、それが下九沢の御嶽神社であります。(古木永吉総代長寄稿)

其の六

当八幡宮の兼務神社を順次ご紹介いたします。

十二、八幡宮

(相模原市南区磯部三三八鎮座)

磯部八幡宮は延文元年(三三六年)より磯部村の鎮守として、御神像に仏陀を奉斎しております。この社を開いたのは鎌倉から来訪した山伏祐國(延文二年九月二十二日没で、別当は小田原玉瀧坊觸で、文禄三年(五九四年)当時には八幡宮は幕府から社領十石を与えられておりました。当社では山伏の修験が行われ江戸時代には沢山の家業繁昌厄除の護摩が焚かれた、この地域は大山詣りの宿場であったため境内は非常に賑わったと伝えられます。明治二年神仏混淆の禁令により別当職が解かれ八幡大神と改称し、明治六年十二月には磯部村神社に指定されました。明治二十六年の神社明細書には氏子数(上磯部下磯部勝坂)で三九戸と記してあります。昭和十九年九月二十七日新磯部の総鎮守として指定村社に列せられました。

昭和五十七年十月、御社殿末社鳥居・石段・手水舎等の改築を行い、平成元年四月竣工しました。また、境内には社奉行宛古文書等推定樹齢五〇〇年の銀杏と、江戸初期作と推定される不動尊(昭和六十二年一月相模原市重要文化財の指定)があります。先人の築いた長い由緒を持つ地域の氏神様として、郷土の繁栄と健康で永遠に平和と豊かな生活が出来ますよう、ご加護があるものと篤く崇敬されています。

主たる祭事として元旦祭(二月一日)、節分祭(二月三日)、不動尊例祭(三月二十八日)、例大祭(九月五日)、七五三祭(十一月中旬)、除夜祭(十二月三十一日)があります。(田所幹雄総代長寄稿)

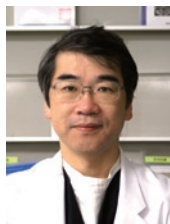


健康お宝船



前号より、病院創立以来六十有余年に亘り敬神の念篤く元旦祈禱等をされてきた相模原協同病院の先生方から、氏子崇敬者皆様方の健康保持に貴重な記事を提供することになりました。今号は同病院循環器センター長の井關治和先生より寄稿頂きましたので、掲載いたします。

生活習慣病と心筋梗塞



井關治和氏

最初に、東日本大震災に被災された皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

ともに二日も早い復興を祈念申し上げます。

さて、今回は生活習慣病と心筋梗塞について、お話ししたいと思います。生活習慣病には、代表的なものに糖尿病・高血圧・高脂血症などがあります。中高年の多くの方が何らかの生活習慣病をもつていて、それが将来脳卒中・心筋梗塞などの重大な健康障害になる可能性があるため、早期発見と早期治療が急がれています。

糖尿病患者の数は、わが国では八九〇万人と推計されています。予備軍を含めると二、二〇万人ともいわれています。糖尿病は動脈硬化の危険因子として以前より問題視されており、インスリン抵抗性症候群・死の四重奏・シンドロームX・メタボリック症候群など年代により呼び方が変わるものの動脈硬化を生じる危険因子重積症候群の主因子のひとつとされています。初回心筋梗塞の二〇％は糖尿病によるものです。糖尿病は心筋梗塞だけでなく万病のもとであり早期に治療を開始しなければなりません。

高血圧患者数は三、九七〇万人と推定さ

れます。高血圧も動脈硬化の危険因子です。初回心筋梗塞に対して二五／七五以上ではリスクが上昇します。ちなみに初回心筋梗塞の一八％は高血圧によるものです。年々血圧コントロールの基準は厳しくなっており、特に糖尿病を有する人や、脳梗塞・心筋梗塞など動脈硬化による疾患を有する人は厳重な血圧管理を必要とします。少なくとも一四〇／九〇以上の血圧の方は一度クリニックの先生にご相談されるとよいと思います。

高脂血症患者数は四、二二〇万人と推定されます。高脂血症は以前より動脈硬化の増悪因子として有名です。最近では強力にコレステロールを下げる内服薬が誕生しており、以前ほどコレステロール値を下げるのに難渋することは少なくなりました。しかし初回心筋梗塞の四九％がコレステロールによるものといわれており油断大敵です。

その他、疾患ではありませんが、生活習慣として喫煙は重要な危険因子であり、初回心筋梗塞の三八％が一日二〇本の喫煙に因るものといわれています。いかに喫煙が危険であるかがわかります。

これらの病気はたとえ軽度であっても、二

神社！豆知識

神紋

家に家紋があるように、神社にも神紋というものがあります。

八幡様の巴(ともえ)や天神様の梅鉢、お稲荷さまの稲などがそれに

あたります。これらはその神様に関係のある事柄や植物、器物等を意匠化したものといわれています。

天神様が梅鉢なのは菅原道真公が梅と縁があり、お稲荷さんが稲なのは食物の神様だからです。

巴はもと「柄(とも)絵(え)」と書きまして、これは弓を引くときに腕に巻いたものであり、それを意匠化したものといわれています。弓は八幡様の武器でもあり、また、柄(とも)は「ほむた(ほんだ)」ともいわれています。「ほむた(ほんだ)」は八幡宮の御祭神である応神天皇の別名「ほむたわけの命」にも通じるという事から「巴紋」は八幡様の紋として最も相応しいのがあります。



亀ヶ池八幡宮の神紋

より二つ、二つより三つと数が増えるにつれて相乗的に動脈硬化が増悪するため気をつけなければなりません。最近、メタボリックシンドロームという言葉を聞くことが多いと思いますが、メタボとは各疾患の正常値より少しずつ高いとの意味合いで使われています。少し太っていて、少し血糖が悪く、少し血圧が高く、少しコレステロールが悪いだけと深刻に考えない方が多いですが、メタボと診断されますと、虚血性心疾患の罹患率が四倍になるとのデータもあります。心筋梗塞のような虚血性心疾患は他の多くの疾患と違いご自身の努力で回避することが可能ですから、なおさら、日々の生活管理に気をつけたいものです。

神奈川県厚生連相模原協同病院

相模原市緑区橋本二一八—八

電話〇四二—七七一—四二九一



循環器メンバー

ご案内

平成二十三年
例大祭斎行

ご創建以来連綿

と絶えることなく斎行されている

当八幡宮の例大祭は、左記の通り

執り行いますので、お気軽にご参拝ご観覧

下さいませようお知らせいたします。

日時：平成二十三年九月十七日(土)

●例大祭(御社殿)：午前十時

●奉納剣道(境内)：午後二時

●神代神楽(神楽殿)：午後三時

●余興(神楽殿)：午後六時

●お囃子(囃子やぐら)：終日(適宜)

七五三祝児無事成長祈願祭

七五三祝は、古くは平安時代より公家の間で行われ、江戸時代に入り庶民に広まったものです。当八幡宮では、十月初旬頃より十一月末までお子様の健やかな成長を願って七五三祈願祭を斎行いたします。なお、八九十月にすこやかパック(貸衣装・美容着付・写真の展示予約会を計画しておりますので、ご祈禱同様ご希望の方は当八幡宮社務所へお問い合わせ下さい。

●ご祈禱希望受付：八月より

●ご祈禱時期：十月より十一月末

●すこやかパック(貸衣装・美容着付・写真)の受付：八月より

平成二十四年正月祈願祭受付

「年の計は元旦にあり」人は皆新年を迎えたと、希望や夢をふくらませ、神社に祈詣されています。

当八幡宮では、無料大駐車場を完備し、初詣の皆様をお迎えしています。

家内安全・厄除け・商売繁盛・交通安全等のご祈禱予約を十一月より受付いたしますので、当八幡宮社務所へご連絡下さい。

